

令和7年度 第1回男女共同参画審議会 議事録要旨

開催日：令和7年9月8日（月）

場 所：広陵町役場3階大会議室

出席者

審議会委員 9人（3人欠席）

事務局（町長・地域振興部・協働のまちづくり推進課）4人

傍聴 5人

◆次 第

- 1 開 会
- 2 委嘱状交付
- 3 町長あいさつ
- 4 会長あいさつ
- 5 広陵町男女共同参画に関する取り組み状況について
 - ・令和6年度の取り組みについて
 - ・令和6年度広陵町男女共同参画行動計画達成状況について
- 6 その他
 - ・参画と協働について（施策実施状況報告書について）
- 7 閉 会

1 開会

10時30分開会

2 委嘱状交付

3 町長あいさつ

広陵町男女共同参画行動計画の基本理念は、誰もが多様な選択肢から自らが自らの道を選択でき、活躍できる社会である。性別による固定的役割分担意識にとらわれず、職場や家庭において、多様な選択ができ、その選択を尊重しあえるまちづくりを推進していくことを目的としている。

特に女性の活躍については、多様性が尊重される社会を実現するとともに、我が国の経済社会に新しい価値を生み出し、そして、社会に大きな変革をもたらす持続的な発展を確保するためにも不可欠な要素である。

仕事と家庭を両立することが当たり前の社会になっている今、もう一歩進んで、男性と女性がお互いを尊重し合い、職場や学校、地域、家庭等、社会のあらゆる分野で性別に関わらず、個性と能力を十分に発揮し喜びや責任を分かち合うことができる、そんな男女共同参画社会を広げていきたい。

また、個々に違う状況や立場で、本当に女性/男性が求めていることは何なのか、本音の部分が明らかにすることも重要であると感じている。

全ての人が希望に応じて働き、活躍できる環境作りを一層進め、誰もが自分らしく生きられる社会の実現を目指し、住民の皆様とともにまち作りを推進できるよう、委員の皆様には、様々な角度からご意見を賜りたい。

4 会長あいさつ

本会は男女共同参画審議会であるが、男女だけでなく、外国にルーツを持つ方や性的マイノリティの人権など、様々な立場の方の人権が尊重され、町の中で気持ちよく生活できることが大きな目標であると思う。理念としては素晴らしいが、実践するのは非常に難しい。そうした実情が、本日の資料の中にも数値等で表れているものと思う。どうやって実行するか、審議会を考え、現場ではどんなことが問題になっているか等、ご意見伺いたい。

5 広陵町男女共同参画に関する取り組み状況について

<事務局説明>

- 「資料1 広陵町における男女共同参画について」、「資料2 令和6年度の取り組み」、「資料3 令和6年度審議会・委員会等の女性委員登用割合調査について」に基づいて、令和6年度の男女共同参画に関する取り組み状況について説明。
- 「資料4 令和6年度 男女共同参画行動計画達成状況調査シート」、「資料5 令和7年度第1回広陵町男女共同活躍推進作業部会議論内容報告書」、「資料6 令和7年度第1回広陵町男女共同活躍推進委員会議論内容報告書」に基づいて、令和6年度の広陵町男女共同参画行動計画達成状況について説明。

<委員意見、質疑応答>

(委員)

- 資料3で、女性の登用割合がこんなに少ないのかというのと、その理由まで可視化され、特に「あて職で選出の委員（団体の長）に男性が多い」という理由が印象的であった。本審議会条例にもあるが、「団体の代表者」としているのを、「代表者または代表者が推薦するもの」とすれば、少しでも増やせるのではないかと感じた。

→ (委員)

自分も区長・自治会長会の副会長で、あて職として本会に来ている。区長・自治会長から会長と副会長4人の計5人があて職で会議に出席しているが、そもそも区長・自治会長に女性がいないと女性の登用は増えない。しかしながら、41ある区・自治会の中で、女性会長は今年1人のみであるのが現状で、推進していくのは難しいところである。

→ (会長)

推進していくには課題も多くある。目標達成の為に、強引ではあるが割合で決めてしまうという方法もある。また、目標達成の為に、従来の体制を変えていく、変革していくことが重要。

→ (事務局)

女性登用という観点でいうと、あて職のあり方も徐々に変えていく必要があると感じている。今後検討する。

- また、女性の意見を反映させるため、女性が参画しやすい環境作りが重要であるが、子育て世代が平日昼間の会議に参加するのは難しい。託児を設けたり、何か方法はあると思う。

→（事務局）

過去には、この会議も土曜日開催にしたり、別部屋でお子様に過ごしていただく形で出席いただいたり、チャレンジしてみたことはあるが、保育が必要な年齢であった場合は保育士が必要になるため、予算やスケジュールの関係でハードルがあるのが実情。会議のあり方も含めて、今後検討させていただきたい。

- 資料5の、意見内容に「女性役員増に応じて補助金を増やす」とあるが、これはもうすでに実施しているのか？

→（事務局）

既に実施しているものではない。作業部会委員から、インセンティブ的に導入してはどうかという案である。

（委員）

- たまに仕事で消防署へ行くことがあるが、本当に女性職員が少ない。資料6に役場でも危機管理部門の管理職に女性が少ないとあるが、本当に実感しているところである。
- 子ども食堂をやっているが、災害時どんなことができるだろうと考えていた。こんな時にはこんなことをしてほしいとか、何が必要とか、ネットワークづくりも大事だと思う。

→（会長）

地域で災害時誰を助けるべきかというのは把握しているのか。

→（委員）

広陵町から要支援者（障がいをお持ちだったり、要介護度の高い人）名簿が渡されている。地域では自主防災組織があり、実情把握に努めているが、民生委員はもっと把握しているかもしれないので、連携が必要になると感じている。

（委員）

- 主に知的障害をお持ちの方の作業所をしている。障がい者分野では、地域拠点という形で、広陵町内の他の事業所と、介護者等に何か問題が起こったとき、その間どうやって支援やするかの話し合いを進めているところである。
- 今後のテーマの提案だが、誰もが住みやすいまちづくりという観点で、子育てや高齢介護など、何かしら支援を求めるような弱い立場になったとき、住みやすい町かどうかは重要であるため、それについても作業部会で話し合っただけたらと思う。住みやすいまちづくりには、公園の数など目に見えるものだけでなく、人のつながりなど、目に見えないものが大事だと思う。いろんな人の支援が入って、過ごしやすいと思えること、当人へのサポートだけでなく、介護者への支援も重要だと思う。
- 防災については、大災害の時、シミュレーションができることが大事。地域では自警団が備蓄品の管理等を担っているかもしれないが、それに婦人会が参画するとか、役割分

担を少し変えたり広げたりすれば、女性も参加しやすくなるのではないか。

→（会長）

今ご発言があったように、地域の組織に女性が参画することは重要であるが、その組織が男女対等な関係で運営されているのか、上下関係が厳しくて女性が発言しにくい雰囲気になっていないか等、組織のあり方も含めて考えていく必要がある。急に変えるのは難しいが、そうした観点も必要ではないだろうか。

（委員）

- あて職の話もあったが、私は人権擁護委員の代表のあて職が3年前になくなって、人権擁護委員の中で部会が4つあるうち、男女共同参画部会に私があたっているという経緯で、この審議会に参加している。
- 生命の安全教育出前講座に人権擁護委員で見学に行ったりしている。すごく良い取組で、その中にデートDVの説明があり、ある高校生が「父親が母親にしていたことはDVやったんやと気づいた」という声もあった。自分も、この審議会に参加していろんな取組を知ったし、広陵町の取組をもっと周知していけば良いのではないかなと思う。
- 高田の法務局で毎週電話相談をやっているが、電話がかかってくることは少ない。それは相談すべきことが少ないということなら良いが、友だちや家族だけでなく、行政にも気軽に相談しやすいようなアピールをした方がいいのかな、と人権擁護委員同士でも考えているし、役場とも一緒に考えていけたらと思う。

（委員）

- 広陵町内でプラスチック製造をしている。経営者の目線でお話しできたらと思う。
- 製造業の特徴だと思うが、女性はパートがほとんどで、正社員はほとんどいない。子どもができて、女性はどうしても休みがちになってしまうが、頑張って出勤してくれているパートさんも中にはいるので、それはきちんと評価しなければならない。そこで、職種限定社員制度を導入した。福利厚生等の面で正社員に劣る部分はあるが、準社員のような扱いで、待遇も時給から月給に変わったり、ボーナスが発生したりする。そうするうち、本人からもっと頑張りたいと申し出があり、正社員として登用した例もある。そういう制度を会社側が作っていかなければ、なかなかやっぱり社員や従業員側から声を上げるのは難しいと思う。大きい会社になると、女性役員を何%にしなければいけない等いろんな縛りがあったりするが、まだまだ中小・零細企業においては、女性活躍その考えが浸透していないのではないだろうか。行政で色々取組をされているが、そもそも意識改革していかないと、行政が頑張っても事業者側がなかなかついていけないのではないかなと思う。

（委員）

- 達成状況調査シートについて、個人的には全部A評価にしなければいけないとは思わない。それより、なぜCやDなのかを話し合うのが重要だと思う。その一つが今回の防災分野だと思う。
- 昨年はこの審議会の開催も1回だった最低2回程度開催して、もっと皆さんの意見を

聞きたいし、取組がその後どうなったのかを知りたい。

→（事務局）

会議の開催回数について、今年度は年度末にもう1回開催させていただきたいと考えている。また皆さまのご意見を聞かせていただけたらと思うので、よろしくお願いします。

（委員）

- 計画策定当初から参加させていただいている。その頃から大きく変わったと感じたのは、学校の制服。私の身近にも、自分の性別を決めかねている子や、自分の性別に違和感を持っている子たちがいるが、ジェンダーレスの制服になって、その子たちが笑顔で通えるようになったんだな、と嬉しく感じている。
- 管理職への女性の登用について、何か大きなことが起きたときに、女性の視点がないというのは子育て世代としても不安があるので、もっと増えれば良いと思う。

6 その他

<事務局説明>

- 広陵町自治基本条例にかかる参画と協働（施策実施状況報告書）について説明。

7 閉会

12時00分 閉会

以上